

「新宿力」で創造する、やすらぎとにぎわいのまち 2020 新宿区政この1年

令和2年が間もなく終わります。区の1年の取り組みを振り返ります。
【問合せ】区政情報課広報係(本庁舎3階) ☎(5273)4064・FAX(5272)5500へ。

4月 四谷スポーツスクエアがオープン

スポーツ、文化的活動、相互交流の拠点として、オープンしました。



▶多目的ホール



9月 補助第72号線が全線開通

全線開通により、並走する明治通りや小滝橋通りの混雑が緩和され、周辺の生活道路への交通流入が減少し、地域の安全性が向上するほか、震災時等には、避難経路や緊急車両の主要ルートとしての役割を担います。



▲新大久保駅付近



▲補助第72号線と職安通りの交差点北側の状況

6月 新宿区手話言語への理解の促進及び障害者の意思疎通のための多様な手段の利用の促進に関する条例を施行

障害がある方のコミュニケーションの充実を図り、障害の有無にかかわらず誰もが互いに人格と個性を尊重し合いながらいきいきと暮らし続けられる共生社会の実現を目指し、施行しました。



▲区ホームページで同条例を手話動画(字幕付き)で配信

7月 新宿中央公園芝生広場エリアをリニューアル交流拠点施設がオープン

誰もが足を運びたい都心のオアシスにすることを目指し、新宿中央公園の芝生広場エリアをリニューアルしました。



▲リニューアルした芝生広場エリア



▲コーヒースタ・レストラン・アウトドアフィットネスクラブが入った交流拠点施設「SHUKNOVA(シュクノバ)」

7月 新宿駅の東西自由通路が開通

新宿駅周辺の歩行者の回遊性を向上させるため、新宿駅東西のまちをつなぐ自由通路が開通しました(写真)。

また、東西自由通路の開通にあわせて、新宿駅東口駅前広場が整備されました。



撮影協力: 東日本旅客鉄道(株)

10月 新宿区ユニバーサルデザインまちづくり条例を全面施行

全ての人々が円滑に利用することができるまちづくりを推進することで、年齢、性別、国籍、個人の能力等によって分け隔てられることなく共生する社会の実現に資することを目的に制定しました。



▲操作しやすい大きなボタンや点字、安心できる階数の表示



▲多機能トイレ

11月 新宿区とCriacao Shinjukuが包括連携協定を締結

区と「新宿区サッカー協会代表チームCriacao Shinjuku(クリアソン新宿)」は、「地域社会の発展」「スポーツの振興」「多文化共生の推進」等のための包括連携協定を締結し、さらに連携を深めることで、スポーツ振興や多文化共生、健康づくりなど新宿のまちの発展につなげていくこととしました。



▲協定書にサインする吉住区長



▲協定締結式の様子

新型コロナ感染症対策に取り組んだ1年

1月 新型コロナウイルス相談電話を設置

保健師などの相談員が区民等の新型コロナウイルスに関する相談に応じる専用電話を設置しました。



▲電話での相談に応じる保健所職員

2月 新型コロナウイルス感染症対策本部を設置

庁内の連携を強化し、迅速かつ適切な対応を図るため設置しました。

4月 新型コロナウイルス検査スポットを開設



国立国際医療研究センター・新宿区医師会への委託により新型コロナウイルス検査スポットを開設し、PCR検査体制を強化しました。

6月 第1回繁華街新型コロナ対策連絡会を開催

区と繁華街の事業者等が、感染拡大防止対策に関する情報共有をしながら、新型コロナ対策に協力して取り組んでいくことを確認しました。

7月には、第2回目の連絡会を開催しました。



7月 繁華街新型コロナ感染拡大防止キャンペーンを実施

区と繁華街の事業者・東京都・国が連携し、警察の協力を得て、歌舞伎町地区の接待を伴う飲食店(約300店舗)を戸別訪問し、感染拡大防止の徹底への協力を依頼しました。店舗に配布したチラシ▲



11月 感染症対策講演会を開催

冬場の感染症対策に向けた飲食店への普及啓発を目的に実施した講演会では、新型コロナウイルス感染症対策等の説明がありました。

参加店に配布したステッカー



▲新宿区新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーの砂川氏